

## ワークシート・資料編

### 1 ワークシート（ロイロノート配付カード）

- (1) 明治時代の日本はどのていど近代的だったのか？
- (2) あなたの問い

（生徒の解答例）

「日本の郵便事業はどこまで近代的だったのか」  
「食生活の変容から見る明治史」  
「明治時代の服装と近代化の関係とは」  
「明治人 V S 感染症 明治の医学は近代的なのか」

- (3) 年表

（生徒の解答例）

感染症発見の歴史

- 1875 ハンセン病
- 1879 淋病
- 1880 マラリア  
腸チフス
- 1882 結核
- 1883 コレラ  
ジフテリア
- 1887 ブルセラ病
- 1889 破傷風（北里柴三郎が、治療・予防法を開発）
- 1894 ペスト（北里柴三郎が、ペスト菌を発見）
- 1898 赤痢（志賀潔が、赤痢菌を発見）

- (4) 内容

（生徒の解答例，一部抜粋）

感染症について

「不潔なモノに潜んでいるので清潔にしてそれらを取り除き、ばらまかないようにしろ」とのこと。井戸や便所、川や池など不潔な場所でクラスターが起きていたと考えられる。この教えは、現代の「三密を避ける」にも通ずるのではないだろうか。また、この感染症についての教えが小学校の道徳の教科書に載っていたことを考慮して考えると、感染症に対する知識は現代人に劣っていたとしても、意識は現代人よりはるかに高かったのではないのだろうか。

明治時代の服装について

以上の理由により洋服の導入は、上流階級の人々と庶民の間で権力や財力の差が明確に表れた。

しかし、今までは政府や一部の人々のみで完結してしまうような政策ばかりだったけれど、この洋服の導入は庶民とも一丸になって諸外国に対抗する政策であり今までにないような近代的な政策だと私は考える。

(5) 資料

関係する資料をつける。Web上の写真でも、資料集でもよい、としてある。

(6) 参考文献・Webサイト

(7) 評価規準

評価規準（小項目）	内容	評価	得点
①明治時代の近代化と関わりある問いになっているか（主体性）	明治時代に関する問いであり，国民国家の形成，産業化の両面から近代化について考察できる問いである。	A	5
	明治時代に関する問いであり，国民国家の形成，もしくは産業化についての問いである。	B	3
	明治時代に関する問いであるが，近代化と関わりが無い。	C	1
②必要な年表が作成できているか（知識・技能）	本文に対して過不足ない年表が作成できている。	A	4
	年表と本文につながりがある。	B	3
	年表と本文とのつながりがうすい。	C	1
③自分の問いと内容が合っているか（思考・判断・表現）	問いに対して，論理的に説明している。	A	4
	内容が，問いに対する答えになっている。	B	3
	自分の問いと内容に対する関連性がうすい。	C	1
④適切な資料が添付されているか（知識・技能）	内容を根拠付ける資料を添付している。	A	4
	内容と関連する資料を添付している。	B	3
	内容と関係ない資料を添付している。または，資料を添付していない。	C	1
⑤全体として，論理的に説明しているか。（思考・判断・表現）	全体の構成に一貫性があり，論理的に説明している。	A	5
	小項目について論理的に説明している。	B	3
	論理性がうすい。	C	1

2 資料（例として，ロイロノート提出箱に提示）

(1) 明治時代の日本はどのていど近代的だったのか？

(2) あなたの問い

「鉄道ができれば近代的なのか」

(3) 年表

1830 鉄道発明  
1864 ペリーが来航し，鉄道（ミニチュア）を見せる  
1869（明治2） 北海道茅沼炭鉱で，炭鉱軌道が運行  
1872 東京の新橋と神奈川の横浜間に鉄道開通  
1906 鉄道国有法により，私鉄を国有化

#### (4) 内容

最初の鉄道は、イギリスから輸入したものであった。また、レールの規格について、エドモンド・モレルなどのお雇い外国人に説得され、国際的にはあまり使用されていない、狭軌を採用してしまった。

確かに、鉄道は、非常に儲かる（2年目の営業利益21万円）ものとして認識され、旅客がよく運ばれていた。

しかし、現実には、外国からの助言を受けて、政府が上から成し遂げた工業化であることが分かる。

特に、鉄道国有法は、せっかく、私設鉄道の開業キロが官設鉄道の3.5倍（1897年）になったにもかかわらず、「軍事警察的・金融資本的・統制の実現」（山田盛太郎）と表現されるように、上からの産業化を成し遂げるために国有化したように感じられてしまう。

夏目漱石の『草枕』の一節にこのようなものがある。

「人は汽車に乗るといふ。余は積み込まれるといふ。人は汽車で行くといふ。余は運搬されるといふ。汽車ほど個性を軽蔑したものはない。文明はあらゆる限りの手段をつくして個性を発達せしめたる後、あらゆる限りの方法によってこの個性を踏みつけようとする」  
急激な工業化について、人々が受け入れ切れていないようすがみてとれる。

このように、明治時代の近代化とは、急激な上からの国民化と産業化であったと考えられる。

この変化についていききれず、個性を否定されたように感じる者も多かったのではないだろうか。

(5) 資料 官・私鉄別開業路線距離（1883～1905年）の表を掲載

(6) 参考文献・Webサイト

### 3 参考文献

- ・『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』（山川出版社, 2021年）
- ・「青空文庫」(<https://www.aozora.gr.jp/>)
- ・「明治の鉄道」([http://home.e01.itscom.net/ikajas/technology/tech\\_japan04.htm](http://home.e01.itscom.net/ikajas/technology/tech_japan04.htm))
- ・「日本の鉄道開業」(<https://ja.wikipedia.org>)